

(新本庁舎低層部等一体の利活用協議組織準備会)

第3回

日時：令和7年7月17日(木) 10:00-12:00

場所：IDOBA

委員紹介

| 氏名 | 所属等 | 分野等 |
|-------|-------------------------|------------|
| 猪股 孝之 | 一番町四丁目商店街振興組合 理事長 | 商店街 |
| 氏家 正裕 | 定禅寺通街づくり協議会 幹事・まちづくり部会長 | 地域活動団体 |
| 内川 亜紀 | 札幌駅前通まちづくり株式会社 代表取締役社長 | 事業収益性 |
| 姥浦 道生 | 東北大学災害科学国際研究所 教授 | まちづくり・都市政策 |
| 佐藤 晶洋 | 国分町三丁目友和会 会長 | 近隣町内会 |
| 高山 秀樹 | 仙台商工会議所 常務理事・事務局長 | 商工・地域経済 |
| 馬場 正尊 | 東北芸術工科大学 教授 | 公共空間利活用 |

ほか、会議の論点に応じてゲスト委員を招集予定

<仙台市>

| 氏名 | 所属等 | 氏名 | 所属等 |
|--------|-------------|-------|----------|
| 湯村 剛 | まちづくり政策局 次長 | 二階堂 聡 | 都市整備局 次長 |
| 猪狩 健一郎 | 財政局 次長 | 河西 義人 | 建設局 次長 |
| 瀧澤 孝二 | 経済局 次長 | | |

1 開会

2 新本庁舎低層部の運営に関する基本方針（案）市民アンケート実施報告

3 市民ワークショップ（FutureSession）開催報告

4 前回のディスカッションの振り返り

5 ディスカッション

①一体的利活用ガイドラインについて

- 全体構成（案）について
- 一体的利活用の目指す姿（案）について

②協議組織のあり方について

- 役割・構成員（案）について

6 次回開催案内

7 閉会

本準備会のスケジュールについて（第1回・第2回準備会資料を更新）

| | 主な検討内容（案） |
|---------------|--|
| 第1回 (1/8) | <ul style="list-style-type: none">• これまでの取り組み状況の振り返り• 本準備会の進め方について• 事例（札幌駅前通）によるスタディ（ビジョン・ミッション）など |
| 第2回 (3/17) | <ul style="list-style-type: none">• 一体的利活用ガイドラインについて• イベント関係者への意見聴取• 協議組織のあり方（案） など |
| 5月～6月 | 市民参加型ワークショップ（フューチャーセッション） |
| 第3回 (7/17) | <ul style="list-style-type: none">• 一体的利活用ガイドラインについて• 協議組織の概要について• 目指す姿について• 市民参加型ワークショップの結果共有 など |
| 第4回 (9/1) | <ul style="list-style-type: none">• 一体的利活用ガイドラインの構成案まとめ• 協議組織の概要まとめ• 目指す姿のまとめ など |

新本庁舎低層部の運営に関する 基本方針（案）市民アンケート 実施報告

■ 新本庁舎低層部の運営に関する基本方針（案）の 市民アンケート実施について

1. 目的

新本庁舎低層部を運営する民間事業者の公募に先立ち、低層部の基本的な考え方等について市民意見を聴取するもの。

2. 調査項目

- (1) 「新本庁舎低層部の運営に関する基本方針（案）」についてのご意見
- (2) あなたの思う”仙台らしさ”について

3. 概要

- (1)対象者 市民
- (2)期 間 令和7年5月22日～6月23日

4. 回答結果

- | | |
|----------------|-----|
| (1)回答人数 | 21人 |
| (2)基本方針（案）への意見 | 57件 |
| (3)仙台らしさへの意見 | 20件 |

5. 主なご意見

(1) 基本方針（案）へのご意見

- ・ 3つを導入機能とすること（①開かれた政策検討/公開の場、②市民のための日常型コンテンツ、③共感型情報発信拠点）は重要。
- ・（低層部の）持続可能（な運営）は大事な視点。
- ・ 役所のルールだったり慣習に囚われずに楽しい場所にして欲しい。
- ・（運営について）時には見直しも必要。それこそ柔軟に、不断の見直しを。

(2) 仙台らしさへのご意見

- ・ 七夕、青葉まつりなどの歴史、伝統的な行事
- ・ 先端と伝統の両立
- ・ 公民が同じ目標に向かってチャレンジしていく
- ・ 暮らしやすさ、学生が多い
- ・ 自然豊か、緑、杜の都

※（ ）内の文言は文意が正確に伝わるように事務局で加筆

市民ワークショップ (FutureSession) 開催報告

ゲスト委員ご紹介

| 氏名 | 所属等 | 備考 |
|------|------------------------------|--|
| 手島 慧 | 一般社団法人ONE TOHOKU HUB 代表理事 | <ul style="list-style-type: none"> 仙台市内で若者コミュニティを運営 若者を巻き込んだまちづくり事業を多数実施 |

プレゼンテーション事項

- 「Future Session ～仙台市役所本庁舎建替事業 市民ワークショップ～」の開催報告





Future Session

～日本中どこにもない役所の1、2階をつくろう～

2028年度(令和10年度)の利用開始を目指し建て替え中の仙台市役所本庁舎。

新しい市役所の低層部(1、2階)を、周辺エリアとの賑わいが生まれ、

まちの回遊性が高まるようなものにするために

市民の皆さんとともに考える「トーク&ワークショップイベント」です。

トーク & ワークショップ イベント

参加
無料

定員(抽選)
各回30名



第1回

仙台市役所の1、2階を
考えるのはなぜ？

2025.5.31^土

13:30～16:30(13:00開場)

会場 / イノベーションプラットフォーム「IDOBA」

〒980-0803 仙台市青葉区国分町三丁目3番1号 定禅寺ヒルズ5階



渡辺 勇太さん
(第一生命保険株式会社 不動産部)



奥口 文結さん
(FOLK GLOBALWORKS 主幹)

第2回

仙台市役所の1、2階を
どんな場所にする？

2025.6.21^土

13:30～16:30(13:00開場)

会場 / イノベーションプラットフォーム「IDOBA」

〒980-0803 仙台市青葉区国分町三丁目3番1号 定禅寺ヒルズ5階



松井 明洋さん
(Media Surf Communications株式会社 代表)



佐藤 岳歩さん
(株式会社The Youth 代表)

2次元コードの「申込フォーム」よりお申し込みください。2025年5月22日(木)まで

※どちらか1回のみのご参加も可能ですが、2回ともご参加いただける方を優先させていただきます。
※運営スタッフイベントの様子を写真や動画で撮影し、仙台市のHPやSNS等で公開します。お申し込み時点で、これに同意いただいたこととなります。



| 第1回 | |
|-----|--|
| テーマ | 仙台市役所の1、2階を考えるのはなぜ？ |
| 日時 | 2025年5月31日(土) 13:30～16:30(13:00開場) |
| 会場 | イノベーションプラットフォーム「IDOBA」 〒980-0803 仙台市青葉区国分町三丁目3番1号 定禅寺ヒルズ5階 |
| 内容 | 第1部 ワークショップ 仙台市役所や市役所周辺の印象を付箋に書き出しディスカッション。参加者それぞれの「こういう市役所にしたい!」を可視化するワークショップです。 |
| | 第2部 クロストーク 仙台市職員からこれまでの新本庁舎低層部の検討状況をご説明。また、仙台市役所同様、建て替えを計画している仙台第一生命ビルディングのエリアの魅力・価値向上に向けた取り組みや市役所低層部との連続性についてトークセッションを行います。 |

渡辺 勇太さん
(第一生命保険株式会社 不動産部)

1984年生まれ、第一生命保険株式会社・不動産部(資産運用部門)にて企画・開発業務に従事。「黒ビル」こと仙台第一生命ビルディングの建替えプロジェクトを担当し、仙台市との「勾当台・定禅寺通エリアのまちづくり等に関する連携協定」(2023年12月締結)、都市計画提案(2024年9月決定)等を推進。民間ビルオーナーの立場から、エリアの魅力・価値向上への貢献を目指す。一級建築士。

| 第2回 | |
|-----|---|
| テーマ | 仙台市役所の1、2階をどんな場所にする？ |
| 日時 | 2025年6月21日(土) 13:30～16:30(13:00開場) |
| 会場 | イノベーションプラットフォーム「IDOBA」 〒980-0803 仙台市青葉区国分町三丁目3番1号 定禅寺ヒルズ5階 |
| 内容 | 第1部 クロストーク 店や人を巻き込み、コミュニティを形成している松井さんと、仙台などにカフェを構えてコミュニティを形成している佐藤さん。「点」と「面」ふたつの視点を持つ大切さを解き明かします。 |
| | 第2部 ワークショップ 第1回目のワークショップで可視化された市役所のあるべき方向性を基に、「私」だったらこんなアクションをする!というアイデアを交換するワークショップです。その後、「みんなでこんなことをしてみたい!」を話し合います。 |

松井 明洋さん (Media Surf Communications株式会社 代表)

1982年生まれ、都市の編集者集団、MEDIASURF代表。日本橋兜町のマイクロ権合施設「K5」共同運営、同エリアのビアバー「Omnipollos Tokyo」、ビアホール「日」、文化施設「景色」なども運営。都市の定点観測が趣味。現在はスウェーデンのストックホルムと東京の二拠点で活動中。

佐藤 岳歩さん (株式会社The Youth 代表)

1997年、宮城県仙台市生まれ。株式会社The Youth 代表。「景色をひろく」を理念に、人とひと、若者と大人、文化と価値観が変わる場と状況づくりをおこなう「The Youth」を創業。ローカルラウンジ(Echoes)(宮城・仙台)、カフェレストラン&ミュージックバーラウンジ(Common)(東京・六本木)、ロースタリーカフェ(PART COFFEE ROASTER)(静岡)をプロデュース・運営する。

お問い合わせ

仙台市財政局理財部本庁舎整備室
TEL:022-214-3170 MAIL:zai003075@city.sendai.jp

【第1回ワークショップ概要】

仙台市役所や市役所周辺の印象を付箋に書き出しディスカッション
参加者の「こういう市役所にしたい！」を可視化するワークショップを開催

STEP 1 現状把握

仙台市役所、及び市役所周辺に関するイメージを挙げる

- ①市役所や周辺に関するイメージについて、ポジティブな点を黄色い付箋に、ネガティブな点を青い付箋にそれぞれ書き出す。<10分>
- ②書き出した付箋をもとにグループ内でディスカッションする。<10分>

現状
ポジ

現状
ネガ

STEP 2 現状の 言語化

ネガティブな要素の言葉をブラッシュアップ

青い付箋に書き出したネガティブな点を、グループ内で話しながら、さらに明解なワードに変換し、ピンクの付箋に書き出す。<10分>
例) 雰囲気が暗い → 建物が古い/人が少ないetc

現状
ネガ

変換

STEP 3 目指す姿 の言語化

市役所や周辺を目指す (あってほしい) 姿を言語化

ピンクの付箋に書き出したネガティブなワードをグループ内で話しながら、ポジティブなワードに変換し、緑の付箋に書き出す。<15分>
例) 建物が古い → 建物が新しく清潔感がある
人が少ない → 平日も休日も人が楽しそう

変換

目指す姿

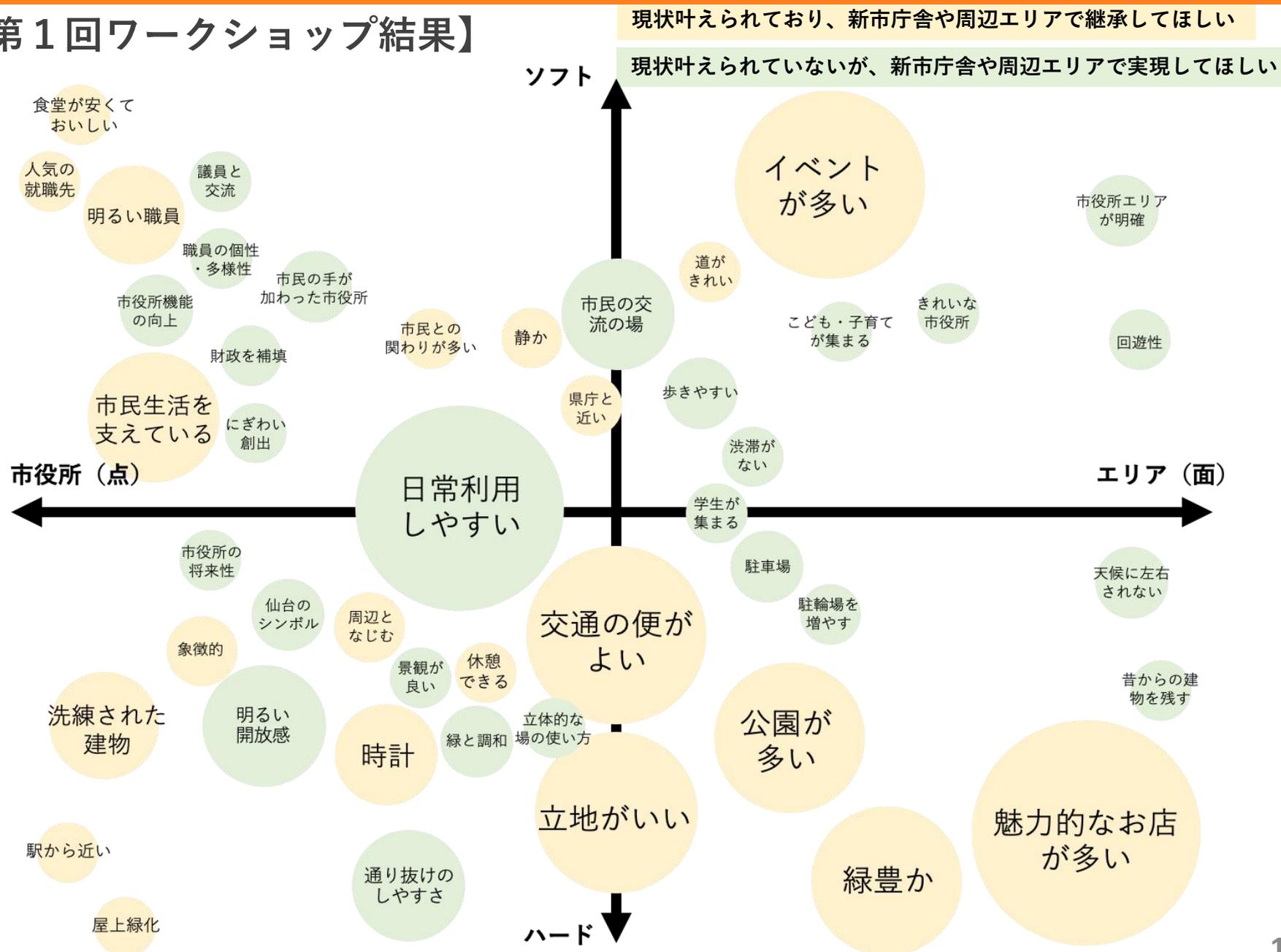
STEP 4 目指す姿 の整理

市役所や周辺のあるべき (あってほしい) 姿を整理

模造紙に縦軸「ハード-ソフト」、横軸「点-面」を書き、緑付箋を置いていく。<15分>



【第1回ワークショップ結果】



【第2回ワークショップ概要】

第1回目のワークショップで可視化された市役所のあるべき方向性を基に、「私」と「みんな」を主語に「こんなアクションをする！」というアイデアを交換する。

STEP 1 目指す姿 の確認

第1回WSで整理した「目指す姿」の再確認

第1回WSで模造紙と付箋で表現した「目指す姿」をグループ内で共有する。<5分>



継続

改善

STEP 2 施策の 可視化①

目指す姿を実現する「私」主語の施策を考える

①「私=1~10人」ができることを付箋に書き出す。<10分>
例) 緑が豊か→花壇の寄せ植えイベントの開催

②付箋を模造紙の「目指す姿」が書かれている場所に
貼りながらグループのメンバーとディスカッション。<15分>

私

STEP 3 施策の 可視化②

目指す姿を実現する「みんな」主語の施策を考える

①「みんな=11~100人」ができることを付箋に書き出す。<10分>
例) 緑が豊か→緑や花をテーマにしたグリーンフェスの開催

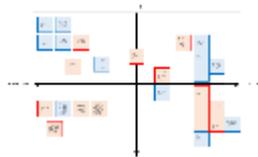
②付箋を模造紙の「目指す姿」が書かれている場所に
貼りながらグループのメンバーとディスカッション。<15分>

みんな

STEP 4 施策の 発表

市役所周辺の見守りを実現する施策アイデアを発表

縦軸「ハード-ソフト」、横軸「点-面」、
付箋「私-みんな」。グループ発表<20分>

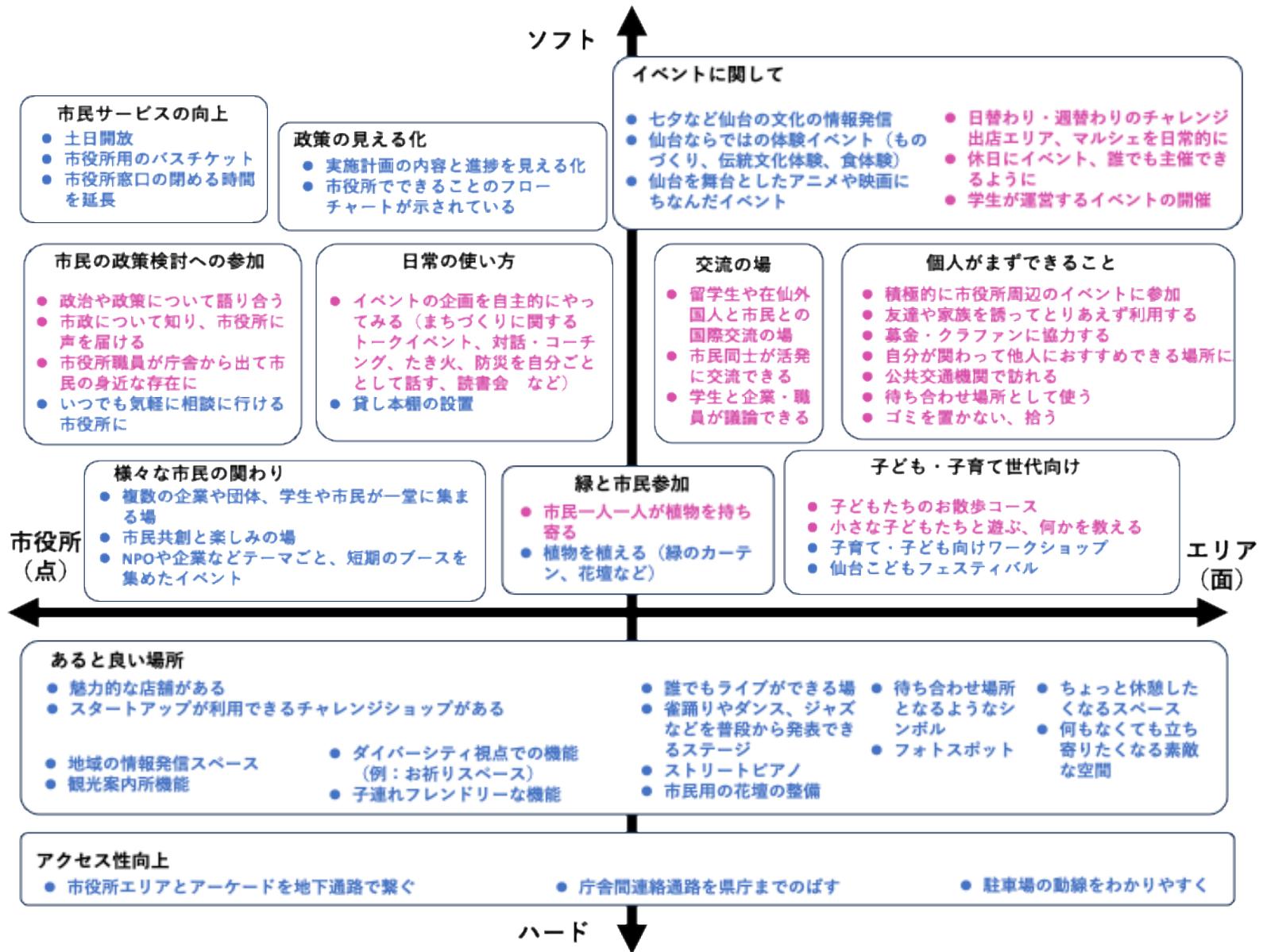


私

みんな

【第2回ワークショップ結果】

ピンクの文字・・・1~10人でやってみたい・できたらいいなと思うこと
 青色の文字・・・11~100人でやってみたい・できたらいいなと思うこと



前回のディスカッションの 振り返りと論点整理

■ 第2回準備会ゲスト委員（佐々木委員・菅委員）からのプレゼンテーションについて

- 周辺地域への波及効果や市民が参加しやすい柔軟な活用方法が重要と感じた。波及効果を持たせるための取り組みを推進するには、ある程度強制力を持たせることも考えられるのでは
- 郊外で実施されているイベントと連携し、賑わいを中心部にも引き込めると良いと感じた
- 大規模な集客イベントが都市に与える影響は大きく、実現できると魅力的である。イベント参加者へ地域の飲食店等の情報を提供し、クーポンを発行するなどすることで、都心での消費や回遊を促進できるのでは
- まちなかで実施されるイベントに対して地域の支援が不足していると聞く。イベントを地域の資産であり、価値向上に寄与するものとして捉えるべきでは

■ 一体的利活用ガイドラインについて

- 北3条広場ガイドラインの「はじめに」に記載しているように、**運営会社としての理念を明確に示すことも重要**。また、**日常的な過ごした方についても記載**した方が良い。勾当台・定禅寺通エリアビジョンに掲げる「交流とゆとり」をどのように考えるか具体的に記載してはどうか
- 市民を対象とするのであれば、「市民」「チャレンジ」「仙台らしさ」等の重要な要素を一つの大きな要素として提示した方が全体像が伝わりやすいのではないか
- 市民の日常的な利用を主軸とし、その延長にイベントが存在する形が望ましい。また、定禅寺通のケヤキ並木など地域の特色を反映した空間づくりを進めるべき
- イベント事業者の視点から見ると、**シームレスで使い勝手の良い空間の確保**や手続きの簡素化が盛り込まれていると良い。また、ターゲットとなる利用者層が明確になっていることが望ましい
- イベント事業者だけでなく、**経験の少ない方の利用も考慮**すべき

■ 協議組織のあり方

- 運営事業者が経験を積むまでの一定の期間、運営を支援し、適切な方向へ導く場として機能すべき。運営の成熟度に応じて協議組織のあり方を調整していく必要がある
- ガイドラインの策定にあたり、適切な責任の所在を明確にし、意思決定を迅速に行える体制を整えるべき
- 運営事業者を過度に制約するのではなく、一定の自由度を持たせることが重要。チャレンジの精神を持ちつつ、最低限守るべき事項を明確に定めるべき
- 運営課題やトラブルについては、仙台市と運営事業者が方針を決定し、必要に応じて協議組織が関与する形になるのでは。また、運営事業者と行政が連携し、協議組織が情報を蓄積・提供することで適切な運営が可能となるのでは
- 一体的利活用エリアは単に収益を生む場ではなく公共性を有する場であることを念頭に置き、一体的利活用エリア全体の利用について公共性を担保するための仕組みが必要

ディスカッション

① 一体的利活用ガイドラインについて

ガイドラインの全体構成（案）

- 札幌市北3条広場 使用の手引きの目次構成を参照して作成
- 一体的利活用エリアの利用者を対象と想定して作成
- 最終的な策定主体は仙台市

| | 項目 | 検討主体 |
|---|---|--------------------------------|
| 0 | はじめに 一体的利活用の理念 | 運営事業者・仙台市 |
| 1 | 目指す姿 4つのテーマの提示 | 本準備会 ・仙台市 |
| 2 | エリアの概要 (1) 概要 (2) 公共空間の利用 (3) 設備の使用 (4) 制限事項 (5) 管理責任、免責及び損害賠償 (6) 関係法令の遵守 | 仙台市 |
| 3 | 運営指針 (1) 目指す姿に対する配慮 (2) 制限事項 (3) 会場レイアウト (4) 安全管理に関する配慮 (5) 周辺環境に対する配慮 (6) 衛生管理に関する配慮 | 本準備会（骨子） → 運営事業者・仙台市 |
| 4 | 利用の手引き 利用の流れと申請書類等 | 運営事業者・仙台市 |

一体的利活用で目指す姿（案）

テーマ1

多彩なチャレンジを育む

多様な主体の協働により、
これまでにない大規模な
イベントや市民の多彩な
挑戦を後押しし、
新たな価値を生み出す

テーマ2

仙台らしさを体現する

市民協働の取り組みが盛んな
仙台市の都市個性を体現し、
市民活動の中心として
地域を象徴する場となる

テーマ3

市民の日常を豊かにする

まちの中心部にありながら、
豊かなみどりの広がる景観を活かし、
市民が交流とゆとりを楽しむことのできる環境を実現する

テーマ4

エリアの価値向上 に寄与する

シームレスにエリア全体を
利活用し新たな賑わいを
創出するとともに、周辺との
連続性を大切にするこ
とでまちの回遊性向上に貢献する

テーマ1 『チャレンジ』

市民協働、
市民のクリエイティビティ、
多様な主体、学びと遊び、
官民連携、共創、
市役所というコンテンツ、
新たなチャレンジ、
新たな価値創造

公民連携検討会、
一体的利活用検討会で
あげられたキーワード

仙台ならではの祭り、
未来志向、
市民によるチャレンジ

一体的利活用準備会で
あげられたキーワード

多彩なチャレンジを育む

多様な主体の協働により、
これまでにない大規模な
イベントや市民の多彩な
挑戦を後押しし、
新たな価値を生み出す

テーマ2 『地域の象徴』

ブランディング、
メディア化、風景の象徴、
仙台を好きになる、
テーマ性、差別化

公民連携検討会、
一体的利活用検討会で
あげられたキーワード

仙台らしさ、
文化、歴史、
市民が活用
しやすい
未来と歴史の
融合

一体的利活用準備会で
あげられたキーワード

仙台らしさを体現する

市民協働の取り組みが盛んな
仙台市の都市個性を体現し、
市民活動の中心として
地域を象徴する場となる

テーマ3 『日常的な利用』

“交流”と“ゆとり”、
市民の居場所、
生活を豊かに、
日常的に集まる

公民連携検討会、
一体的利活用検討会で
あげられたキーワード

勾当台・定禅寺通エリア
ビジョンをベースに
（交流とゆとりを楽しむ、
仙台の庭 など）、
定禅寺通のケヤキ並木、
日常的な利用

一体的利活用準備会で
あげられたキーワード

市民の日常を豊かにする

まちの中心部にありながら、
豊かなみどりの広がる景観を活かし、
市民が交流とゆとりを楽しむことの
できる環境を実現する

テーマ4 『エリアの価値向上』

周辺との連携・情報共有、
相互に賑わいを波及、

シームレス、

使い勝手の良い空間、
周辺との連続感、

回遊性向上

公民連携検討会、
一体的利活用検討会で
あげられたキーワード

パートナーシップ
軸線を重視した活用、
濃淡のあるゾーニング、
周辺エリアとの互惠関係、
新しい目的地、
観光

一体的利活用準備会で
あげられたキーワード

エリアの価値向上
に寄与する

シームレスにエリア全体を
利活用し新たな賑わいを
創出するとともに、周辺との
連続性を大切にすることで
まちの回遊性向上に貢献する

目指す姿・運営指針のイメージ

前提（仙台市総合計画）

（まちづくりの理念） **挑戦**を続ける、新たな杜の都へ～”The Greenest City”SENDAI～
（目指す都市の姿） **杜の恵み**と共に暮らすまちへ／**多様性**が社会を動かす**共生**のまちへ／
学びと実践の機会があふれるまちへ／**創造性**と**可能性**が開くまちへ

位置付け・現状

<上位計画での位置付け>

- 仙台市都市計画マスタープラン・地域別構想
杜の都を象徴する景観と文化交流・市民活動の場
 - ・ **交流・賑わい軸の定禅寺通**や、多彩な**市民活動を醸し出す市民広場**をはじめ新たな賑わいが期待される市役所新本庁舎とその周辺、**商業・賑わい軸の一番町**などの多彩な空間が一体となって、**日常的な賑わいと憩いを創出する仙台の象徴**たるエリア
 - 勾当台・定禅寺通エリアビジョン
“交流”と“ゆとり”を楽しむところ—みんなで育む“仙台の庭”
 - ・ 人々の多彩な**交流／ゆとりある**雰囲気／多様な主体の**協働**
- <現状>
- ・ **空間**・豊かな**公共空間**、隣接する定禅寺通の**ケヤキの緑**
 - ・ **利活用**・勾当台公園・定禅寺通において、**多様な主体により休日**に**イベントが実施**

これまでの検討事項

- 新本庁舎低層部等公民連携検討会:一体的利活用のコンセプト
- ・ 多様な主体が集い、新たな**チャレンジを育む**空間の創出
 - ・ **シームレス**で**柔軟性**のある利活用スキームの構築
 - ・ **公民連携**により**エリアブランディング**に貢献

一体的利活用で 目指す姿

①
多彩な
チャレンジ
を育む

②
仙台らしさ
を体现する

③
市民の
日常を
豊かにする

④
エリアの
価値向上に
寄与する

運営指針

- **目指す姿に対する配慮**
 - ・ 目指す姿を踏まえた利用の促進
- **制限事項**
 - ・ 禁止行為と制限行為
- **会場レイアウト**
 - ・ 歩行者動線と滞留空間の確保
 - ・ 交流の軸への配慮
 - ・ 緊急車両、避難経路の確保
- **安全管理に関する配慮**
 - ・ 搬入・搬出・設営・撤去について
 - ・ 警備、保険への加入について
 - ・ イベント中止の判断基準
- **周辺環境に対する配慮**
 - ・ 音、におい、照明や光、広告物の掲出について
- **衛生管理に関する配慮**
 - ・ 原状回復と清掃管理、除排雪、ゴミ処理、トイレ

ディスカッション

②協議組織について

協議組織の役割・構成員（案）

目的：一体的利活用の運営に対し、専門家の知見および市民の関わりを受けて、共創の視点を持ってともに考えていく場

- 役割：①目指す姿の議論（数年に一度）
- ②利活用ガイドラインの確認（必要に応じて随時）
- ③運営課題についての共創的な解決を目指す検討・助言（年に数回）
- ④年次報告・成果確認（年に2回）
- ⑤運営課題に関するナレッジの蓄積（随時）

構成員

有識者、地域(町内会・定禅寺通街づくり協議会・一番町四丁目商店街)、近隣地権者、商工会議所

※各回で議論する内容に応じたゲスト委員出席

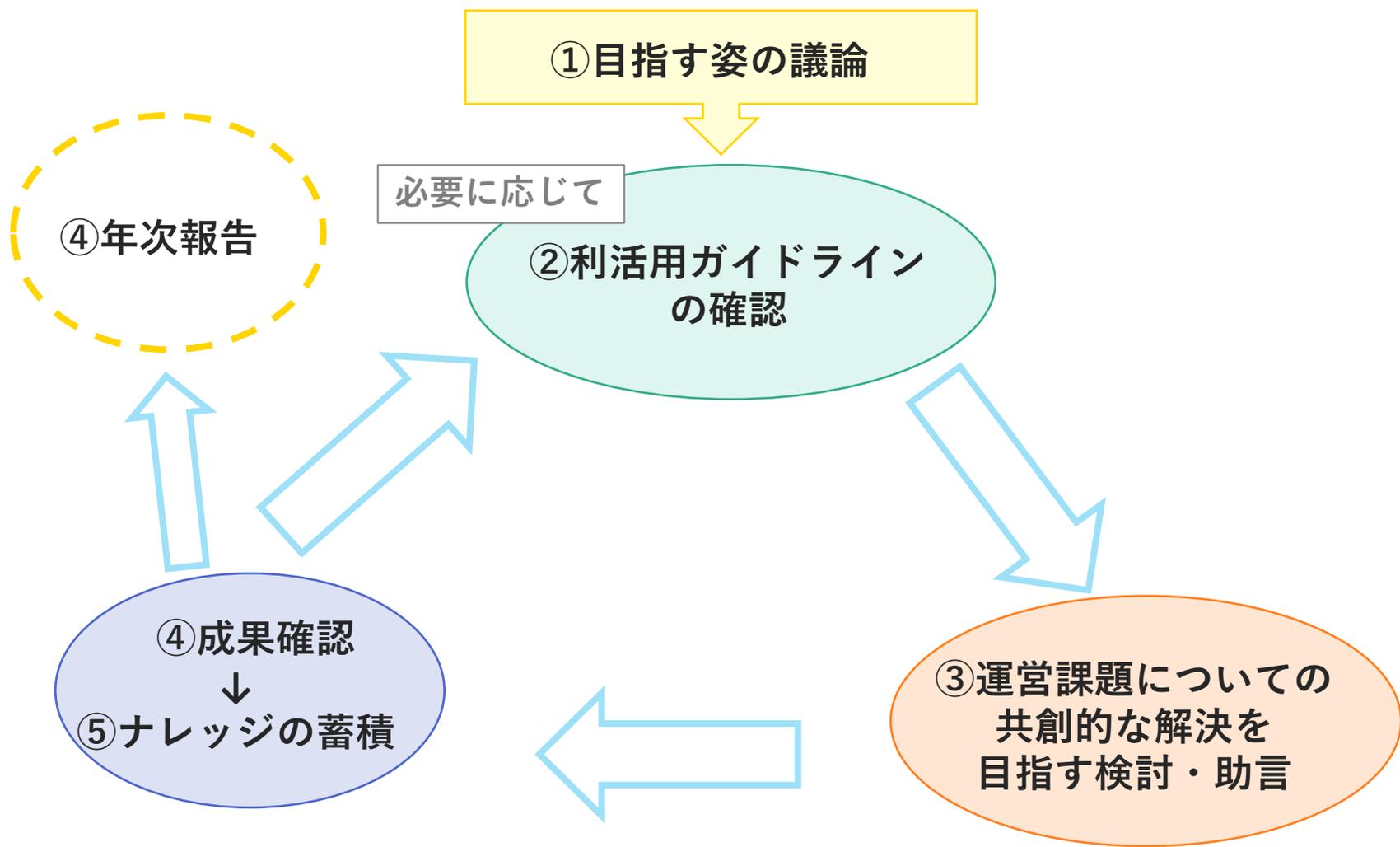
※オブザーバー(警察、保健所)

事務局

仙台市

運営事業者

※運営事業者の成熟度に応じて役割・構成員は柔軟に変化していくことを想定



協議組織

アドバイス機能

- 地域代表有識者等で構成
- 一体的利活用エリアのビジョンや達成度やアウトカム評価などを通じて、関係者がより良い事業を実施していくための助言

役割：ビジョンの継承、利活用ガイドラインの策定、取組み成果の確認、連携窓口、周辺エリアとの協議調整 ※プロジェクトの進捗により変化

構成員：地域(商店街,まちづくり協議会,つなぎ横丁沿道地権者など)、有識者、仙台市(伴走窓口,公物管理担当など)、利用者・テナント組織など
※オブザーバー(警察,保健所,商工会議所)

事務局：運営事業者

その他：目的に応じて複数の会議体(下部組織)の設立を想定

仙台市 役割：行政窓口の一本化・伴走組織等の検討

一体的利活用エリア

| | | | | |
|-----------------------|------|-------------|--------------|----------------------|
| 本庁舎低層部 (庁舎管理者) | | 表小路線 | つなぎ横丁 | 勾当台公園 |
| 市民協働 | 情報発信 | 飲食物販 | 敷地内広場 | 【にぎわいの広場】 (公園管理者) |

連携エリア

勾当台公園
【いこいの広場,かたらいの広場】

連携エリア

定禅寺通,
四丁目商店街,
つなぎ横丁沿道
など

仙台第一生命ビル
(低層部オープンスペース等)

運営事業者

役割：エリアデベロッパー、プロデューサー、コーディネーター、コミュニケーター、ファシリティマネージャー

組織：各々の専門性を活かした共同事業体を想定

運営事業者のチェック機能

継続的に事業者の運営状況などを評価・助言

イベント主催者等

外部資金活用
(補助金等)

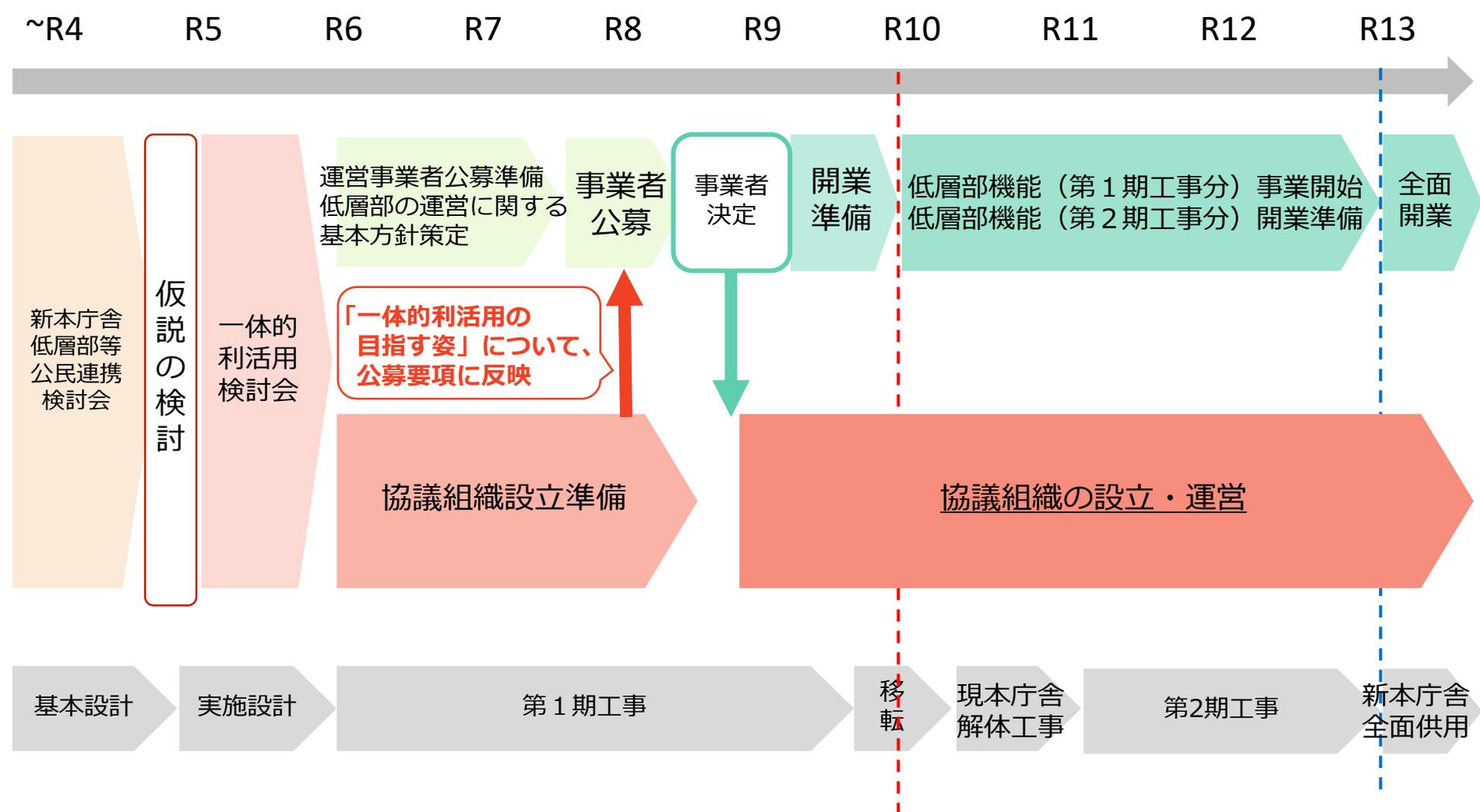
エリマネ広告

収益設備
(什器貸出等)

契約等
お金の流れ

窓口の一本化

【参考】全体スケジュール（第1回準備会資料を更新）



次回

日時：令和7年9月1日(月)

場所：仙台商工会議所7階大会議室

※オンライン併用予定